

第49回 新潟地区中学校総合体育大会 兼
第49回 新潟県中学校総合体育大会新潟地区予選会
剣道大会要項

- 1 主催 新潟県中学校体育連盟 新潟地区中学校体育連盟
- 2 共催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会
- 3 主管 新潟市中学校体育連盟
- 4 後援 (公財)新潟市体育協会
- 5 期日 平成30年7月3日(火)・4日(水)
- 日 程 第1日目 7月3日(火) 8:30 役員・監督会議
9:00 開会式
9:30 競技開始－団体戦－
16:00 競技終了・諸連絡(予定)
- 第2日目 7月4日(水) 8:30 役員・監督会議
9:00 開始式
9:15 競技開始－個人戦－
16:30 競技終了・閉会式(予定)

6 会場 新潟市体育館

7 競技種目 男子・・・団体戦・個人戦 女子・・・団体戦・個人戦

8 登録人員

(1) 団体戦

①男子：監督1 コーチ1 マネージャー1 選手5 補員2 (計10名)

②女子：監督1 コーチ1 マネージャー1 選手5 補員2 (計10名)

(2) 個人戦

男女共、監督1、コーチ1、選手は各地域において選抜された者とそれを除いた各校2名以内とし、補員は一切認めない。

* 監督・コーチは当該校教員、マネージャーは当該校教員か生徒とする。なお、教員以外のコーチは学校長が認めた者で、出場校1名以内とし、指導者承認書を申込時に提出することとする。また、複数校をコーチすることは認めない。

9 参加資格 男女共、下記により選抜された学校、または個人とする。

(1) 他競技の地区大会に参加し、県大会出場権を得て、それを優先する場合は、剣道地区大会に出場できない。

(2) 団体戦：各地域において選抜された(新潟東6、新潟西6、燕・西蒲3、佐渡1)16チームによる。

* 但し、参加がない地域が出た場合は、地区専門委員で協議した上他の地域の出場枠を増やす。

(3) 個人戦：各地域において選抜された者(新潟東 ベスト32、新潟西 ベスト32 燕・西蒲 ベスト8、佐渡 ベスト4)とそれを除いた各校2名以内とする。

10 競技規定

本要項にない事項は、全日本剣道連盟試合規則並びに審判規則に準ずる。

11 競技方法

(1) 団体戦

① 試合場 10m×10m

② 試合時間

ア. 予戦リーグ、県大会出場決定トーナメント、シード順決定戦は3分間3本勝負とし、勝負のつかない時は引き分けとする。

イ. 決勝トーナメントは、3分間3本勝負とし、延長(2分間)は1回とする。なお勝負のつかない時は引き分けとする。

* 団体戦の勝敗が決定したときは、延長戦を行わない。

③ 審判 3人制とする。

④ 出場順

選手申し込み用紙の順とし、申し込み締め切り後の変更は認めない。

⑤ 選手・補員の補充

- ア. 申し込み後、選手又は補員に欠員が生じた場合は、役員・監督会議にその理由を申し出て補充することができる（理由によっては認められないこともある）。但し、会議終了後は補員の補充は認めない。
- イ. 選手に欠員が生じた場合は、予め登録された補員をもって補充しなければならない。
- ウ. 選手に代わって補員が出場した時は、もとの選手は再び復帰できない。
- エ. 上記「ア」により補員を使い切った後に、選手の欠員が生じた時、その対戦は不戦敗（2本負け）となる。

⑥ 試合方法

- ア. 男女とも4チームずつ4グループに分けて、予選リーグを行い、各グループの上位2チームを予選通過（県大会出場）とする。
- イ. 予選リーグで各グループの3位4チームで県大会出場決定トーナメントを行い、上位2チームが県大会出場となる。
- ウ. 予選通過チームによりあらためて決勝トーナメントを行い、順位を決定する。この際シード制をとり、予選同一グループのチームは決勝まで対戦しないようにする。組み合わせはチームの代表者による抽選によって決定する。

⑦ 勝敗決定

- ア. 予選リーグでは、勝者数、総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は引き分けとする。
- イ. 県大会出場決定トーナメント、決勝トーナメントでは、勝者数、総本数の順で決定するがいずれも同数の場合は、代表者戦で勝負のつくまで行う（時間無制限の1本勝負）。

⑧ 順位決定

ア. 予選リーグの順位は、下記の順位により決定する。

(a)勝ち点（勝ち・・・1、引き分け・・・0.5、負け・・・0）

(b)勝者数 (c)総本数

(d)代表者戦・同率2校 1本勝負、時間無制限

・同率3校 3分間、3本勝負、延長2分間のリーグ戦

・同率4校 1本勝負、時間無制限のトーナメント戦

*同率3校となった場合は、任意の代表者による代表戦を3分間3本勝負、延長2分間を1回行う。それぞれの試合で選手を変更できる。試合順序は予選リーグと同様の順序とする。同率4校の場合、抽選によるトーナメント戦で、任意の代表者による代表戦を3分間1本勝負、延長時間無制限で勝敗が決するまで行う。

イ. 県大会出場決定トーナメント、決勝トーナメントでは「⑦イ」の項に準ずる。

(2) 個人戦

① 試合場 団体戦に同じ。

② 試合時間 3分間、3本勝負とし、勝負のつかない時は延長を勝負のつくまで行う。ただし、15分経過しても勝負がつかない場合は、生徒の健康面を配慮して、水分補給の時間を3分以内とする。

③ 審判 団体戦に同じ。

④ 試合方法

ア. トーナメント方式による。

イ. ベスト32で敗退した選手は、県大会出場決定トーナメントを行い、上位4人が県大会出場となる。

12 表彰

団体戦は3位まで、個人戦は5位まで表彰する。

13 申し込み

(1) ・申込用紙

・振込明細書のコピー（A4貼りつけ）

・指導者承認書（必要な学校のみ）

*組み合わせ結果等は、各校にメールで送信する。

申込先

〒950-2151 新潟市西区内野西1-10-1 内野中学校
TEL 025(262)3161 FAX 025(262)3162
新潟地区中学校剣道大会事務局 栗原弘幸 宛

(2) ・参加料 1人500円(以下の口座に振込で納入すること)

*補員を含む登録選手全員、マネージャーは不要。

*振込手数料は、各校で負担。

*参加料の振込は、締切前日までに完了すること。

振込先

第四銀行 寺尾支店 普通 1497188
新潟地区中体連 剣道専門部 部長 栗原弘幸

14 申し込み期日

平成30年6月22日(金) 17時必着 *遅れた場合、参加を認めません。

15 組み合わせ 大会事務局に一任

16 生徒指導の申し合わせ事項

(1) 中学生らしさを著しくそこねる髪型などの場合、各学校で指導・処置後参加させる。

(2) ゴミは各学校で責任をもって持ち帰る。

(3) 施設、用具等を破損しない。

17 その他 新潟県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項

(1) 試合規則・審判規則・試合運営に関わること

- ① サポーター
- ・サポーター等の使用(足袋、テーピング、コルセットを含む)については医療上必要と認めた場合に限り使用を認める。使用する場合は届け出た上で許可を得る。
 - ・サポーター等は肘や膝などにつけるものを足に使用したり、ゴムや革および滑り止めを底に貼ったもの等の使用は禁止する。
 - ・指先単独のテーピングは届け出不要とする。
 - ・届け出と違うものを使用した者は、替えさせる。違反行為(届出のない者)は、はずさせる。
- ② 竹刀について
- ・両日、竹刀の検査を行う。計測・計量・安全性で不合格の竹刀または、検印のない竹刀は不正竹刀と考える。
(竹刀について、重さは男子440g以上、女子400g以上、長さは男女とも114cm以下、また、先革の直径は男子25mm、女子24mmを超え、長さ50mm以上のものとする)
 - ・不正竹刀を使用した場合は、発見した時点でその選手の負けとする。以下の試合は欠員のまま試合をする。ただし、予選リーグから決勝トーナメントに進んだ時のみ補員の出場を認める。不正竹刀とは「ビニールやセロテープを巻いた竹刀」「異物を挿入した竹刀(異物とは先革のゴム、柄頭のちぎり、鉄片以外の物)」などをいう。
 - ・柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白とする。
- ③ つばについて
- ・革色または白色、直径9cm以下の物を使用する。それ以外の物を使用した場合は、その場で取り替えさせる。
 - ・リバーシブル鏝で模様がある面は使用しない。
- ④ つるについて
- ・つるの色は白色または黄色が望ましい。
- ⑤ 剣道具着装について
- ・剣道着、袴への校名や校章の刺繍は、大きさや色を含め華美にならないよう配慮する。
 - ・面紐の長さは結び目より40cm以内とし、色は赤系統などを禁止する。面乳革については長さ10cm以内(2つ折り)、色は紺・黒とする。
 - ・面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。ただし、日常の稽古や練習試合での使用については特に制限を設けない。
 - ・たすきは、幅5cm・長さ70cmのものを各自で用意する。
 - ・選手の名札は、(〇〇中・姓)を着用する。着用していない選手は出場を認めない。
- ⑥ 公正を害する行為
- ・「変形な構え等の防御姿勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上、「反則」とする。
- ⑦ 突き技について
- ・禁止とし、反則とすることもある。(技としては反則とする。)
- ⑧ 上段について
- ・上段の構えはとらせない。身体上の理由があれば、協議する。
- ⑨ 二刀について
- ・使用させない。
- ⑩ 片手打ち
- ・有効としない。
- ⑪ 試合開始
- ・主審の「始め」の合図で完全に立ち上がって開始する。明らかな場合は指導する。
- ⑫ 試合場について
- ・役員、審判員、監督、コーチ、選手、マネージャー、補助役員以

- 外は、試合場へ入れない。なお、役員、審判員、監督、コーチはネームプレート、補助役員は胸にリボンをつけて入場する。
- ⑬ 観戦・応援について
- ・団体戦において、先鋒戦・大将戦では監督、選手ともに選手席に正座して観戦する。個人戦においての監督も同じとする。
 - ・選手交代の際のよけいな動作（握手・胸突き）は禁止する。
 - ・試合場内で、円陣でのパフォーマンスや団体での礼の際のパフォーマンスは禁止する。
 - ・選手控え席への時計の持ち込み、サイン等の指示や試合者への声援はしてはならない。応援は拍手のみとする。
 - ・試合場内への応援旗・部旗・その他、試合と関係のないものの持ち込みを禁止する。
- ⑭ 試合運営について
- ・第1試合開始の正面への礼は、第4試合場の主審の合図で一斉に行う。
 - ・団体戦において、先鋒戦は選手席（畳）の入れ替えが完全に終わってから始める。
 - ・試合の進行は、放送の指示で行う。放送の指示がない場合は、大会プログラム通りに行う。
- ⑮ 給水タイムについて
- ・勝敗が決するまで行う延長戦においては、健康安全の配慮により15分を目安に3分程度の休憩を設ける。その際必要に応じて目立たない場所での給水を認める。（15分・3分の時間は原則である。選手の状況を見て審判主任・主審が判断する）

(2) 付記

- ① 3人しか出場できないときのオーダーは先・中・大とし、4人の場合は、先・中・副・大とする。
- ② 監督、コーチの服装は白Yシャツ、グレー（無地）ズボンまたはスカート、エンジのネクタイ、紺色または白色の靴下とする。
- ③ 試合場内への時計の持ち込みを禁止する。（腕時計は身につけない）

18 県大会の申し込み

県大会の出場資格を得たものは、その場で書類を作成するので、次のものを用意して大会に参加すること。（団体戦男女各10チーム、個人戦男女上位20名）

ア. 校長印を捺した申込書

イ. 参加料（1人900円 *補員を含む登録選手全員、マネージャーは不要）

ウ. 参加料納付書

エ. 返信用封筒（92円切手添付、宛名明記）

オ. 宿泊申込書（必要な場合のみ）